

2015年11月20日
全国労働金庫協会

国際労働財団招聘事業〈アジア・太平洋チーム〉の訪問を受けました。

全国労働金庫協会は2015年11月20日に、(公財)国際労働財団(以下、JILAF)が招聘したアジア・太平洋チーム(インド、スリランカ、マレーシア、香港、東ティモール、フィジーの8名の労働組合役員)の訪問を受けました。

当労金協会は、JILAFの主催する労働組合指導者招聘事業において、2009年度より労働金庫講義について協力しています。

今回は、当会において〈ろうきん〉の成り立ちや理念、また現在展開している事業活動について説明しました。



招聘チームのメンバーからは、ろうきんの会員と間接構成員の関係はどのようになっているか、出資の仕組みとその運用について、利益がどのように還元されるのか、会員は役員に立候補できるのか等の様々な質問が出されました。

また、中央労働金庫のご協力のもと、中央労働金庫本店営業部を視察いただきました。

